

2020年12月11日

岩手県保険医協会

新型コロナウイルスによる受診控えに関するアンケート結果

この度、当協会は標記の調査を行い、次頁の通り集計をまとめましたのでお知らせいたします。

調査の目的：

新型コロナウイルス感染拡大により、国の非常事態宣言発令や新しい生活様式が推奨されてきたが、感染者が確認されていなかった岩手県においても、日常生活が大きく変わる事となった。現在は、県内各地でクラスターが発生し、終息の見通しがつかない状況となっている。

その一方で、6、7月に実施した当会の調査において、本年4～5月の患者数は前年同月比で大きく減少していることが判明した。原因としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出自粛、経済的な事情、薬の長期処方等の様々な事情が負のシナジーを生んだと考えられる。当会では、県民が必要な受診さえも控えてしまうことにより、病状が悪化することが懸念されるため、様々な媒体を通じて受診勧奨をしている。今回、開業医を中心とした医療現場の実態はどうかを調査し、受診控え解消の端緒とした。

調査期間：2020年9月23日～10月31日

対象：岩手県保険医協会ファクス登録会員（661件）

回答：医科 68（21.4%） 歯科 66（19.2%） 合計 134（20.3%）

1. 受診控えにより病状悪化と思う事例があったか

	医科		歯科	
	件数	割合	件数	割合
あった	5	7%	45	68%
なかった	63	93%	20	30%
回答なし	0	0%	1	2%
計	68	100%	66	100%

医科では病状が悪化する前に受診しているが、歯科受診は優先順位が低くなってしまい、病状が悪化してから受診している傾向がある。

2. 通院を控えたために症状が悪化したと思われる事例について

【医科】

- 1、糖尿病患者の血糖値が悪化。血圧が悪化。(内科)
- 2、アレルギー、アトピー性皮膚炎の症状が、薬を飲まなかったため悪化した。(小児科)

【歯科】(複数回答)

			事例
①歯周病の悪化・急性増悪	32	71%	歯肉が腫れたので来院。
②カリエス進行で抜歯	10	22%	
③詰め物脱離で放置	26	58%	歯がかけて、再装着できなかった。
④カリエス進行で抜髄	17	38%	痛くなって我慢できずに来院してきた。
⑤合わない義歯を使用している	24	53%	
⑥治療中断で増悪	18	40%	
⑦口腔ケアが不十分	30	67%	

その他(歯科)

- 1、訪問診療が施設の方針で中断となり、経過観察していた患者さんが悪化している。

医科では、糖尿病やアトピー性皮膚炎など、継続して投薬治療が必要な慢性疾患の患者の受診中断による症状悪化が報告されている。歯科では、歯周病が悪化した報告が最も多く、受診中断によりカリエスが進行したために痛みが増してしまい、抜歯、抜髄にまで至ってしまったケースも報告されている。

3. 病名や治療中断により懸念される事について

【医科】

- 1、骨粗しょう症治療薬の定期注射が必要だが来院されていない。(内科)
- 2、糖尿病治療中断による血糖コントロールの悪化が懸念される。(内科)
- 3、慢性的な患者の場合、内服中止等により症状悪化等に自覚しない場合が多く、重症化してから来院するケースとなる可能性が高い。(内科)
- 4、受診中断により、患者が「特に自覚症状なし、薬飲まなくてもいいんじゃないか」と誤解し、生活習慣病悪化⇒心血管イベント(心筋梗塞や脳卒中)の増加が懸念される。(内科)
- 5、点眼薬の中断による緑内障の悪化や視野障害の進行。(眼科)

6、治療中断による関節リウマチの悪化。(整形外科)

【歯科】

- 1、元々、痛みや腫れ等の症状が消えると中断する患者さんがいるが、新型コロナウイルスで、それが顕著になったと推察される。
- 2、3ヶ月毎に通院していた患者が来院しなくなり、歯周病の進行が心配。
- 3、インプラントの患者が来院せず、咬み合わせの変化などが心配。
- 4、口腔衛生状態の悪化。全身疾患の悪影響が懸念される。
- 5、元々歯科治療に前向きではない人が、新型コロナウイルスを理由に治療中断となるが、悪化して困った時に来院してくる。
- 6、残せる歯が残せなくなる。歯周病の悪化による抜歯が増える。

医科では、自覚症状のない慢性疾患の患者が、治療を中断することにより症状の悪化や、さらに重篤な疾患に繋がるのではないかと危惧する回答があった。また、視野障害や関節リウマチ等の自覚症状がある患者でも受診を控えている事例が報告されており、患者の状態を懸念する回答もあった。

歯科では、上記の症状悪化事例にもあるとおり、受診を控えることにより、口腔内の状態が悪化することを危惧する回答が多く、口腔内が不衛生であると、感染症にもかかりやすくなり、全身疾患へ繋がることを懸念する回答もあった。

4. その他の意見

【医科】

- 1、患者数1割程度減少。受診頻度も減らしているため収益は減少している。(内科)
- 2、毎月受診されていた方が、長期処方を希望される事が多く、毎月の受診者が減少している。
- 3、受診控えにより、受診者数は去年より2~3割減少している。
- 4、このような時に患者状況がわかるので、普段からチーム医療を推進してきた。(内科)
- 5、9月までの患者数は前年までの半分になっている。(小児科)
- 6、患者数は昨年同期に比較し3割程度減少。そのぶん経営も苦しくなっている。(小児科)

【歯科】

- 1、密にならないための予約調整を行っているため患者数は減少している。経営への影響も大きい。

- 2、患者数の減少や感染対策のための経費増加により、経営状態の悪化が続いている。
- 3、受診控えによる経営状況は悪化している。しかしながら、それ以上に症状悪化事例が増えているため、受診を促す活動を今後も継続していただきたい。
- 4、他府県からの受診希望の方への対応が困っている。
- 5、PCR 検査を多くして陽性者を早く発見して欲しい。症状のない感染者が来院された時が不安。
- 6、発熱患者に対して、県外への外出がないのに受診を断るのは心が痛む。各医院で簡易 PCR 検査が実施できるよう検討をして欲しい。
- 7、患者の減少は、コロナの影響よりも経済の低迷ではないかと思う。
- 8、不定愁訴や前医への不満からの転院、説明を多く求めるなど、心のケアが必要そうな患者が多くなり気を遣う。
- 9、誤った知識や過度な恐怖心。マスコミなどの報道のありかたが影響している。
- 10、歯科医院＝コロナをうつされる危険な場所だと思っている人が多い。間違いである事を広告すべき。

医科では、患者数が減少していることの回答が多いが、特に小児科では患者数の減少が著しく、前年同月比で3～5割減少しているという回答があった。

歯科では、患者数減少や衛生用品や防護用品の価格高騰により、経営的に厳しい状況であるとの回答が多く寄せられている。その一方で、患者間での感染予防のために予約を調整するなどの対策をとっているという回答も複数寄せられている。院内感染防止の観点から、PCR 検査の検査数や実施できるところの増加を求める回答もあった。

また、患者がウイルス感染の懸念から受診を控えているのではなく、コロナ禍により経済的に厳しい状況となって受診できないのではないかとの回答もあった。閉塞的な情勢の中で、心のケアが必要な患者が増加していることが報告されており、ウイルス感染だけではない新型コロナウイルス感染拡大による社会的状況が受診に影響しているという回答もあった。

まとめ一

全国的に、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えから、病院、医院の患者数が減少していることが問題となっている。県内でも、受診控えにより病状が悪化している事例が多く寄せられた。定期的な受診と適正な投薬により、防げる病気や抜かなくて良い歯などもあるため、県民には、自己判断で受診を控え、病状が悪化して取り返しがつかなくなる前に医療機関を受診することを強く訴えたい。

また、コロナ禍による経済的事情により、受診したくてもできない患者がいることも予想される。生計困難者が経済的な理由により必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料又は低額な料金で受診できる「無料低額診療事業」という制度もあるが、手続きの煩雑さや医療機関の負担が大きく、県内でも実施しているところは少ない。国民、県民が経済的な事情で受診できないという状況にならないためにも、国は、公費を投入した「無料低額診療事業」の制度拡充や、今回の新型コロナウイルス感染を大規模な災害と同等であると位置づけ、医療費の一部負担金の減額や免除を実施する措置を講じることが必要である。

歯科受診については、4月6日付の厚労省による「応急処置に留めること。緊急性がないと考えられる治療については延期すること。」などの通知が出され、それにより、テレビ等で歯科受診の危険性が報道された。しかし、診療現場ではその厚労省推奨の標準予防策（スタンダードプリコーション）を実施して、院内感染は報告されていない。

また、WHOの専門家が歯科健診を控える発言をしているが、発展途上国を対象としたもので、衛生環境が整っている国内の歯科診療の事情に当てはまるものではない。

これらのことにより、歯科受診の抑制が起こったことについて、県民に周知し、理解をして頂けるようお願いする。

繰り返しになるが、当会としては、特に持病がある方や治療途中の方は、受診を控えることにより、さらなる病状悪化に繋がることになるので、かかりつけ医に相談し、早期に適切な受診をすることを呼びかけたい。また、経済的な事情で受診機会を喪失することがないように、国や県に対し、あらゆる策を講じることがを訴えていきたい。